

# 誰もが住みやすい まちづくりに向けて 「みんなですすめる 地域の福祉」助成事業

本会では、地域に根ざした福祉に関する取り組みの推進や大規模災害等に備えるため、県内の社会福祉団体やボランティアグループ等を対象に、「みんなですすめる地域の福祉」助成事業を実施しています。今年度で2年目となるこの助成事業により、各地域で誰もが住みやすいまちづくりに向けた動きが進み、地域住民の支え合いづくりや福祉への関心がより一層広がることを期待しています。

今回の特集では、この事業による各助成団体の活動をご紹介します。なお、来年度の助成団体募集を行っておりますので、詳細については本会ホームページをご確認ください。



## 平成27年度 助成21団体

- ・藍住町手をつなぐ親の会
- ・(特非) 赤い屋根 上板
- ・井川地区住民福祉協議会連合会
- ・(福) 石井福祉会さくら保育園
- ・えがお+for kids sports
- ・海陽愛♥あいクラブ
- ・勝浦町ボランティア連絡協議会
- ・(福) 北島町社会福祉協議会
- ・KSCの会
- ・(特非) 高次脳機能障害総合支援センターサンガ  
サンガリハビリプラザとくしま
- ・(公社) つるぎ町シルバーリンクセンター
- ・(公社) 徳島県シルバー人材センター連合会
- ・(特非) 徳島県ボランティア協議会
- ・(特非) 徳島県レクリエーション協会
- ・(特非) 徳島防災ネットワーク
- ・東祖谷地区住民福祉協議会連合会

助成額：1団体につき20万円を限度  
(年間20団体程度)

受付期間：平成27年12月1日(火)～  
平成28年1月29日(金)

本会ホームページ：  
<http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/>

- ・福祉みなわの会
- ・(特非) みなと小松島スポーツクラブ
- ・三野地区住民福祉協議会連合会
- ・(福) 吉野川市社会福祉協議会
- ・(福) 若穂会



## とくしま県民活動プラザ

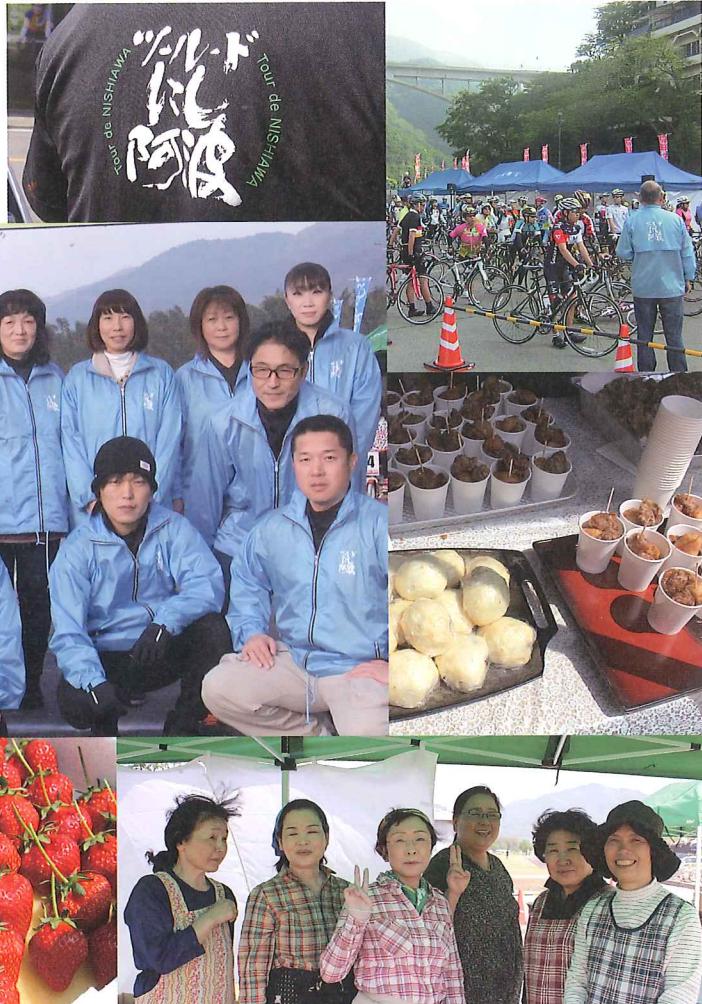
770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地  
沖洲マリンターミナルビル1F  
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345  
e-mail:info@plaza-tokushima.com  
<http://www.plaza-tokushima.com>  
<http://www.tokuvc.jp>



マスコットキャラクター プララ

## 「NPO法人ツール・ド・にし阿波プロジェクト」 地域への強い「思い」はあるか?!

今回の特集は、徳島を代表するサイクルイベントの一つとなった「自転車王国とくしまツール・ド・にし阿波」を主催する「NPO法人ツール・ド・にし阿波プロジェクト」です。自転車をきっかけに「にし阿波」地域の魅力を県内外に発信し、地域の活性化を図る活動を紹介します。



ひと33号 december.2015 **CONTENTS**

**特集** NPO法人ツール・ド・にし阿波プロジェクト  
地域への強い「思い」はあるか?!

**ひと** こどもたちの輝く未来のために  
NPO法人こどもねっとといしい  
理事長 仁木 喜久美さん

**シリーズ・このひとから**  
文化事業を通して豊かなまちに  
NPO法人夢ホール市民協議会夢つくりあなん  
理事 / 事務担当 林 翠さん  
地域ボランティア活動の充実を願って  
板野町社会福祉協議会 大内 秀子さん

**ハートリレー**  
No.33 香留さんから黒川さんへ

**New face** NPO法人 科学技術ネットワーク徳島  
理事長 英 崇夫さん

# NPO法人 ツール・ド・にし阿波プロジェクト



ツール・ド  
にし阿波

近年、人気の高まりを見せる自転車。なかでも、ロードバイクやマウンテンバイクなどのスポーツ車で制限時間内に長距離を駆け抜けるロングライドイベントは、美しい風景や人情、味わい深い地元グルメなどに出会えるということもあり、地域の魅力を発信する好機として全国各地で開催されています。「自転車王国とくしまツール・ド・にし阿波」も、今や参加者の75%が県外からのエントリーという全国区の人気を確立しつつあるイベントです。大会の様子やみなさんの思いに迫ってみました。

## きっかけは健康のために始めた自転車 理事長 牛尾 英司さん

「自転車王国とくしまツール・ド・にし阿波」に関わることになったきっかけは、健康のためにマウンテンバイクに乗り始めたことです。やがて、十数人ほどの自転車仲間が集うようになっていた平成22年、県と県西部の2市2町が主催する「アウトドアフェスタ」の自転車イベント部門の運営を引き受けました。

「ツール・ド・にし阿波」はスポーツ用自転車を使いますが、レースではありません。「にし阿波」地域の公道に設けたコースにおいて、各自の



ベースで完走を目指します。驚いたことに、今年は申込み受付開始からわずか2日で定員に達してしまい、参加者が900名を超える大イベントになりました。

また、このイベントは、地域の様々な人たちに支えられています。当日のコース誘導には専門のガードマンも配置しますが、応援やお接待なども含め、ボランティアとして関わってくれる地域の方々は300名を数え、人ととのつながりを大切にして成り立っている大会といえます。一般的に、山間部の人は閉鎖的だ

というイメージを持たれているかもしれません。しかし、昨年からコースに取り入れた東祖谷地域の方々は、地元の良さを知つてほしいという思いが強くあります。地域の建設業の方が関わってくれ、広範囲にわたるコース整備が効率よくできるようになり、女性のみなさんの温かい声援と郷土料理による「おもてなし」も参加者に好評です。応援部隊として、急な上り坂の沿道に立ってくれた池田高校ボランティア部の生徒さんたちの声も、参加者の背中を押してくれました。

そのほか、「ツール・ド・にし阿波」ならではの工夫として、参加者への翌年の大会案内のメール配信はもちろんのこと、最も難易度の高い「鬼脚(おにあし)コース」の完走者には記念プレートとステッカーをプレゼントし、翌年の大会へのVIP待遇の招待状を送っています。規模の拡大より、中身の濃さで記憶に残るイベントに仕上げていきたいと考えています。



イベントに先立つ4月中旬、休日を利用してコース整備に集まったメンバーのみなさんに同行させていただきました。とくしま県民活動プラザの「平成

26年度ゆめバンクとくしま助成事業」を活用し、導入された草刈り機も大活躍でした！



NPO法人  
ツール・ド・にし阿波プロジェクト  
理事長 牛尾 英司

〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ 2512-1  
TEL : 0883-72-0213 (大西様方)  
E-mail : trek0528@cn02.awaikeda.net  
URL : http://www.tour-de-nishiawa.com/

## 無事に完走した皆さんの笑顔が楽しみ

副理事長 吉岡 修一さん



大会の準備には半年以上をかけ、特に安全には気を遣います。道路の整備、注意を喚起する旗の設置、そして、当日は早朝からコースをすべてチェックし、問題がないと判断してからでないと決してスタートしません。

この大会の魅力は、やはり、地元の方のお接待と応援の温かさだと思います。チェックポイントごとに、手作りのおまんじゅうやおそばをサイクリスト皆さんに振舞います。参加者の半数以上がリピーターであるのは、そういった理由からだと思います。無事に大会が終わった時が、一番喜びを感じます。ゴール後の参加者の皆さんのが笑顔を見るのがとても楽しみです。



## 大切なのは、思いを持ってやれるかどうか 会員 田埜 泰弘さん

会員 田埜 泰弘さん



第2回大会からは、行政の委託ではなく自主開催となりました。この時、地域の独自性を打ち出すには、やはり自然豊かな「山」だろうということを話し合いました。近年人気を集めている「ヒルクライムレース」という登坂メインのレースも考えましたが、他県では有料道路を借り切って行うことが多いのが一般的です。その点「にし阿波」では住民の暮らす一般道を使わざるを得ず、通行規制をかけてレースを開催することは事实上困難です。それでも、「にし阿波」の魅力を堪能していただくためには、何といってもこの地域の特色である「山岳」を全面に出したイベントにしなければと思いました。

大会に合わせた道路の補修などでは当然行政のご協力も不可欠ですが、それにも増してイベントを支えてくださる300人を超える地域のボランティアの皆さんのが共感が得られなくては大会の成功は望めません。まずは、会員である私たちが休日返上でコースに出て草を刈り、土砂を取り除いて汗を流す。私たちがどれだけ地域に対する強い「思い」を持って取り組むかがイベントの質を大きく左右すると考えています。そして、地域の理解と協力が得られるよう、今後もイベントをきっかけとして集まった地域外からの収益を地域に還元していく仕組みを作りつつ、「にし阿波」がサイクリスト(自転車愛好家)にとってあこがれの地となるよう努めていきたいです。

実際に「しまなみ」を自転車で走ってみると、車にクラクションを鳴らされるとか、グレーチング(鋼材を格子状に組んだ道路の側溝等のふた)にタイヤを取られてヒヤッとするといったストレスが本当に少なく、細部まで行き届いた心配りを感じました。自転車イベントに費やされる事業費の額も我々とは桁違

いですが、手本とすべき点は少なくありません。

いつか、「自転車といえば、海の『しまなみ』山の『にし阿波』」と言われるようになりたいですね。



## 目標は、海の『しまなみ』、山の『にし阿波』と言われること

副理事長 小川 達久さん

自転車の本場ヨーロッパで100年以上にわたって開催されているロードレース「ツール・ド・フランス」では、コースの選定にあたり“おらが村をコースが通るように”と各村が誘致合戦をするそうです。選手たちが村を駆け抜けるのはわずかな時間にすぎないのですが、地域にとっては誇りであるとともに、その美しい農村の映像は全世界に配信されますから大きな宣伝効果があります。

私たちも、イベント参加者が「にし阿波」地域のファンとなり、リピーターとなってくれるよう、地域の魅力を発信していかなくてはと考えています。日本国内でも、自転車による地域活性化のモデルケースとして、広島県と愛媛県をつなぐ「しまなみ海道」があります。

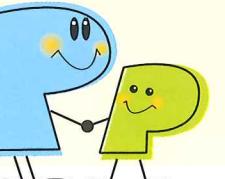
実際に「しまなみ」を自転車で走ってみると、車にクラクションを鳴らされるとか、グレーチング(鋼材を格子状に組んだ道路の側溝等のふた)にタイヤを取られてヒヤッとするといったストレスが本当に少なく、細部まで行き届いた心配りを感じました。自転車イベントに費やされる事業費の額も我々とは桁違

いですが、手本とすべき点は少なくありません。

いつか、「自転車といえば、海の『しまなみ』山の『にし阿波』」と言われるようになりたいですね。

大会終了後、西陽の射す会場を後にする参加者たちの車列に「また来てねー！」と手を振るスタッフの姿がありました。「ツール・ド・にし阿波プロジェクト」さんの地域に対する深くて大きな「思い」が随所から伝わってくる温かいイベントでした。毎年11月には「りんりんフェスタ in ぶぶるパーク」を開催されています。こちらも楽しみながら学べる自転車交通安全教室や、笑顔を誘う大人の三輪車1時間耐久レースなど多彩なメニューがあり、環境

にやさしい乗り物である自転車の利用促進や、サイクルスポーツの普及による「にし阿波」地域の振興に力を注がれています。





# こどもたちの輝く未来のために



NPO法人こどもねつといしい

にき きくみ  
理事長 仁木 喜久美さん



〒779-3223 徳島県名西郡石井町高川原字高川原130-1  
TEL&FAX: 088-635-5799  
URL: <http://www.ishii-kosodate.net/user/26/>  
Facebook: <https://www.facebook.com/npokodomonet>  
E-mail: kodomo-net-ishii@mg.pikara.ne.jp

今回の“ひと”は、名西郡石井町で、子どもたちをはじめ、子育てをしている人、子育てを応援している人たちを支援とともに、町内の子育て環境を向上させるため、日々様々な活動に取り組んでいる「NPO法人こどもねつといしい」理事長の仁木 喜久美さんにお話を伺いました。

仁木さんが現在の活動を始めたのは、子育てがひと段落した、50歳を過ぎたころだったそうです。それまでのご自身の子育てを振り返った時、物がなかった自分の幼少期の反動から、わが子に必要以上に物を与えすぎたのではないか、こころの豊かさをはぐくむことが果たしてできただろうかと深く反省されたそうです。

折しも当時、子どもをゴミ箱に捨ててしまう事件や、パチンコに熱中し、わが子を車の中で死なせてしまうといった、以前ならとも考えられない事件が相次いで起きたことも契機となり、「自分たちの子ども世代の子育てをサポートしよう!」と、平成17年5月に仲間10名とNPO法人を設立されました。

ただ、現在に至るまでの活動はけっして平坦とは言えませんでした。地域の方々や行政に子育て支援活動への理解を求めて「勝手にしなさい」といった感じで、当初はほとんど協力が得られなかつたそうです。ただ、何度も挫折してもけっして諦めず、仲間と力を合わせ、コツコツと活動を継続していく

現在、団体が行っている活動は大きく分けて3つ。一つは0歳から3歳までの子どもを持つ親への居場所提供（地域子育て支援拠点事業）。二つ目は子育てに関わる情報提供や相談支援。三つ目は「石井町はぐくみ応援団」の代表として、地域力を活かした子育てイベント（5月に「みらいフェスタ in いしい」、12月に「親子クリスマス会」）の開催。

「こどもねつといしい」を利用する保護者からは「里に帰ってきたみたい」とか「お姑さんに聞けないことも気軽に聞ける」等の声が聞かれ、ほとんどの方が、核家族で子育てのやり方を教えられない人ばかりであるため、団体の存在は、なくてはならないものになっているようです。

最後に団体の今後についてお聞きしたところ、「現在コアメンバーが14人いますが、うち40歳代が8人もいるので、安心して後を任せられます。」と話されました。それは言いつつ、子どもたちの輝く未来のため、現在、毎日、奮闘努力されている仁木さんは、笑顔のきらきら輝く素敵なお阿波女。いつまでもお元気で子育て支援活動に携わっていただきたいと思いながら、石井町をあとにしました。

## シリーズ・このひとから

### 文化事業を通して豊かなまちに

NPO法人夢ホール市民協議会夢つくりあなん

理事 / 事務担当 林 翠

はやし みどり

当法人では、自主制作や参加を募る自主事業として「みんなでピアノ物語」「夢ホールコンサート」「ロレアコンサート」「こどものためのおんがくかい」「ままプラス anan maman」「手工芸品チャリティマーケット」「出前授業、出前コンサート」の7つを実施しています。

私が特に楽しみにしているのは「出前授業」です。初回は、2006年にショパン国際コンクール5位受賞のピアニスト高橋多佳子さんと、4小学校へ出かけました。



出前授業

音楽室をお借りして、狭い空間で包み込むような響きを体感してほ

林 翠

夢ホール市民協議会夢つくりあなん理事 / 事務担当  
大阪市生まれ。阿南に来てからは阿南那賀子ども劇場、徳島県子ども劇場協議会、阿南市国際交流協会等文化系市民団体で事務を担当。



しいと考えました。

その第1回目の出前授業が終わりに近づいた頃、「ピアノのそばに来て」という高橋さんの呼びかけに応じて、児童たちがピアノの周りを取り囲みました。高橋さんの演奏に瞬きを忘れ、開いた口もそのままに聞き入っている子どもたちの顔。この表情は、出前授業を実施することに大いに自信を与えてくれた上、ご褒美をいただいたようなうれしい気分にしてくれました。目前で懸命に演じられる音楽は子どもたちの生きる意欲を高め、あらゆる分野の才能開花をうながすと言われているそうです。より良い結果と効果を生み出せるよう、これからも充実を図りたいと考えています。

### 地域ボランティア活動の充実を願って

板野町社会福祉協議会 おおうち 大内 秀子

ひでこ

なり地域ボランティアへの広がりが進んでいます。

今後は活動の充実に向けてグループ間の連携を深め、ボランティア活動を通じた地域貢献につなげる事業を展開していきたいと思います。



私が、ボランティア関係に携わって早6年になります。担当している団体の活動をご紹介します。

板野町ボランティア連絡協議会では11グループが相互の繋がりを大切にしながら「朗読、要約筆記、手話、点訳、食事サービス、環境美化、施設訪問、障がい者共同作業所の支援、地域でのウォーキングしながらゴミ拾い」等、それぞれの特色を活かした活動を行っています。

また、老人クラブ連合会では「健康・友愛・奉仕」を軸に豊かな経験を活かし、板野町内小学校校区での子ども見守り隊の活動、昔の遊び、昔の話し等の世代間交流、友愛訪問員の独居高齢者への友愛訪問活動、地域での奉仕活動を続けています。

ボランティアグループや老人クラブの皆さん日々の活動が積み重



老人クラブ清掃奉仕



ボランティア連絡協議会のゴミ拾い

## イベントガイド

### NPOステップアップ事業のお知らせ

#### ●「心と身体の健康+氣 癒しフェア」

開催日時：平成28年1月23日（土）・24日（日）  
10:00～17:00

場所：キヨーエイ鳴門駅前店

主催：NPO法人 日本心理手技療法士会



#### ●「ボランティアで紙芝居を行う方のスキルアップ講座」

開催日時：平成28年  
2月7日（日）  
13:30～16:30

場所：とくしま県民活動プラザ研修室

主催：紙芝居ボランティア  
「おしゃべりくまさん」



#### ●「世界希少・難治性疾患の日」

開催日時：平成28年  
2月28日（日）13:00～16:00

場所：徳島県立障がい者交流プラザ

主催：とくしま難病支援ネットワーク

### ぶらざ&県社協

子どもたちが生き生きとはらくまち「ぶらざタウン」を開催します。子どもたちが社会貢献活動団体の方たちから仕事を教わり、いっしょに生き生きとはらくことにより、活動の内容や重要性を学びます。ぜひ遊びにきてください!!

#### ●ぶらざタウン

開催日時：平成28年3月6日（日）

場所：沖洲マリンターミナルビル

内容：NPOボランティア活動体験（ステージ発表・製品販売等）

主催：認定NPO法人  
とくしま県民活動  
プラザ、社会福祉法人徳島県社会福祉協議会、  
徳島市市民活力開発センター



### 「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人  
徳島県歯科医師会  
徳島市北田宮1-8-65  
電話 088-631-3977



### くすりのご相談は かかりつけ薬局へ！



一般社団法人  
徳島県薬剤師会  
会長 水口 和生  
TEL 088-655-1100  
FAX 088-655-6991

## New face NPO法人 科学技術ネットワーク徳島

### 設立について

NPO法人 科学技術ネットワーク徳島は、徳島県内の小中学生が理科学習に対する興味・関心を持ち、探求心を深め想像力や発想力豊かに育ってもらいたいという思いで設立しました。



理事長  
はなぶさ たかお  
英 崇夫さん

### 現在の主な活動

かつて先進的な工業技術で世界をリードしてきた日本は、現在は時代の変化の中にはあります。しかし、今では子どもたちの理科離れも進んでいます。この流れを変えるために、あすたむらんどや鴨島公民館などで子どものために科学実験教室や工作教室を定期的に開催しています。科学の基本を理解し、科学的な考え方を身につけてもらうためには、1回限りのイベントではなく、シリーズ化することにより良い効果が得られます。例えば、「機械のしくみ」をテーマとした教室の場合なら、1回目は「歯車のしくみ」について、2回目以降は「時計のしくみ」、「ラジオと携帯電話のしくみ」、「燃料電池自動車のしくみ」というように身近なものを取り入れ、子どもの興味の幅を広げ、理解を深めることができます。



### これからビジョン

子どもの科学技術教室に取り組んでいる団体は県内にいくつかありますが、それぞれがばらばらに活動しているのが現状です。これらの団体のネットワークを作ることが課題の一つです。団体間で情報交換し合うことでより良い教え方を模索できるし、県内全体の様子が見えやすくなると思います。

もう一つの課題としては、指導者の養成です。子どもたちが日本の科学技術の底辺を支える人材として育つためには、科学に興味を持ち、基礎を学ぶことが不可欠ですから、実際に小中学生に教える教員の方々の指導力は大変重要なものです。そこで、我々が学校現場と協力することができればと考えています。県内のどこにいても、子どもたちが一定のレベル以上の科学実験や工作教室に参加できる、そんな徳島県にしたいと考えています。

## NPO法人 科学技術 ネットワーク徳島

設立年月日 / 2011年11月26日

〒770-0814 徳島市南常三島町3-24-1

E-mail : hanabusa.takao@tokushima-u.ac.jp

編集後記

プラザスタッフの一員となり、はや4ヶ月。まずNPO法人や社会貢献活動をされている団体さんの多さに驚きました。文化や遊び、自然保護など活動は様々です。そしてどの方もみな、生き生きとされています。そんなみなさんの活動を一人でも多くの方に知っていただけるよう、「一期一会」を大切にしながら、仕事に励んで参ります。（向井）

### 徳島県医師会は「禁煙」を推進しています！

一般社団法人  
徳島県医師会  
会長 川島 周  
【仮事務所】徳島市住吉4丁目11-10  
TEL 088-622-0264



CLEAN UP 吉野川をきれいに！  
参加団体、募集中。



吉野川交流推進会議  
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地  
TEL 088-621-2743  
FAX 088-621-2822  
E-mail office@yoshinogawa.org  
http://www.yoshinogawa.org/  
We ♥ Yoshinogawa

## とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は（認定特非）とくしま県民活動プラザと（社福）徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

### 4つの機能で応援

#### 1.情報収集・提供

団体のチラシや会報、活動がわかる情報を広く発信。また、企業・行政の助成金・各種研修会などの情報や関連図書・ビデオも収集しています。（ホームページ、広報誌、図書コーナー、団体情報、各種助成情報）

#### 2.活動・交流の場

グループでの会議や活動のPRに必要なチラシやポスターなどの作成のため設備を整えています。（ミーティングコーナー、会議室、研修室、作業室）

#### 3.相談・支援

ボランティア・NPOに関する質問・ご相談にお答えします

#### 4.人材育成・研修

団体が力をつけるための研修会やイベントを実施します。（各種講座、ぶらざタウン、NPOフォーラム）

#### ●プラザ開館時間

開館時間：10:00～18:00

#### 【研修室利用時間】

火曜日～土曜日：10:00～21:00

日・祝日：10:00～18:00

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



#### ●公共交通機関をご利用の場合

JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、

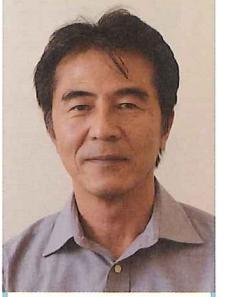
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリ

ンターミナル」下車すぐ

・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」

行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

# 地域生活支援と私



社会福祉法人 矯風会  
徳島児童ホーム・こども家庭支援センターひかり

川内北第二学童保育クラブ

園長 山崎 健二  
やまさき けんじ



徳島児童ホーム

徳島児童ホーム（以後「ホーム」と言う。）が、地域の子育て支援をはじめたのは、平成元年頃からでした。当時、園長であった坂野賀夫先生は、ホームの玄関に「子ども相談室」の看板を掲げ、地域に向けて子育て相談を始めました。さらに、平成3年から園内に放課後児童クラブ「城東子どもクラブ」を開所しました。



研修は基礎編、スキルアップ編、フォローアップ編の3日間の日程で、災害ボランティアセンターの役割についての講義や避難所運営の事例検討、中山間地域における地域資源との連携についてのワークショップ、段ボールや古新聞を活用したベッドや簡易トイレの製作等を体験しました。参加者の方々は、災害発生時の対応に平時からの取り組みが生かせるよう、真剣に学ばれていました。



**預託** ●北日本コンピューターサービス株式会社様より、県内社会福祉施設10ヶ所へ、車いすのご寄贈●徳島県阿波牛販売推進協議会様、徳島県食肉荷受株式会社様より、県内児童養護施設へ阿波牛肉のご寄贈●公益財団法人徳島県文化振興財団様より、県内社会福祉施設へ、第18回阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバルへのご招待、児童養護施設へ、徳島邦樂ルネッサンス第1章 邦樂と洋楽の止揚のご招待●損害保険ジャパン日本興亜株式会社徳島支店様、AIRオートクラブ徳島支部様より、指定障害者支援施設あおばの杜へ、車いすの整備・清掃のご提供●公益社団法人日本厨士協会徳島県本部様より、たちはな学苑へ、料理(洋食)のご提供●トクシマフィットネスラボ様より、県内社会福祉施設へ、ドリームカーニバル2015へのご招待●日本中国料理協会徳島県支部様より、常楽園へ、料理(中華)のご提供●株式会社サムライ・ロック・オーケストラ様より、県内社会福祉施設へ、サムライ・ロック・オーケストラ2015徳島公演 パフォーマンスエディション-アーティング・モモタロウへのご招待●武知 積様より、県内社会福祉施設4ヶ所へ、着物・反物等(中古)のご寄贈●四国電気保安協会労働組合徳島県支部様より、社会福祉法人白寿会へ、車いすのご寄贈

**寄付** ●南海トラフ巨大地震から徳島県保育園児を守る会様●日本健康麻将徳島会場リング様●トクシマフィットネスラボ様

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

## ボランティア活動保険

平成27年度  
全国200万人  
加入!!

### 補償金額(保険金額)

保険金の種類	プラン	
	Aプラン	Bプラン
死亡保険金	1,200万円	1,800万円
後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
入院保険金日額	6,500円	10,000円
手術 保険金	入院中の手術 外来の手術	65,000円 32,500円
通院保険金日額	4,000円	6,000円
特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)	
賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)

### 年間保険料

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		430円	650円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

(※)天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になります。

### 保険金をお支払いする主な例



### ボランティア行事用保険

### 送迎サービス補償

### 福祉サービス総合補償

(普通傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(普通傷害保険)

(普通傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険)

●お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人  
全国社会福祉協議会

(引受幹事保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
TEL: 03(3593) 6824

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581) 4667 FAX: 03(3581) 4763  
受付時間: 平日の 9:30~17:30 (12/29~1/3 を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒に締結する団体契約です。

(SJNK14-16220 (2015.2.6))

これからも、いつまでも

頼りがいのある銀行として、  
地域のみなさまとともに歩んでまいります。

みなさまの「こころ」のメインバンクへ

阿波銀行  
<http://www.awabank.co.jp/>

環境にやさしい銀行を目指し  
環境保全活動に取り組んでいます。



つきあいとくぎん  
徳島銀行  
<http://www.tokugin.co.jp>

## vol.3 佐那河内村社会福祉協議会

### 社協の実践 ともに生むる豊かな福祉社会を目指して

支援が必要な人を協働で支える

「地域の輪」をひろげていきたい

安心して暮らせる環境をつくりたい

**先進地の取り組みを学び、地域づくりに生かす**

昨年度、役場職員と民生委員児童委員、本会理事・職員の計11名が2班に分かれ、群馬県富岡市、神奈川県三浦市、山梨県道志村、長野県栄村の各社会福祉協議会に視察に赴きました。群馬県富岡市での空き家改修によるサロン活動や6次産業化の取り組み、長野県栄村での地域住民がヘルパーの資格を取得した「下駄履きヘルパー事業」等を学んだ結果、今年度から村地域包括支援センターにて、おしゃべりサロン『桜集会所』を開設しました。

今後も住民のニーズや先駆的な取り組みを踏まえ、住みやすい村づくりを進めています。



おしゃべりサロン風景

## vol.4 つるぎ町社会福祉協議会

### 安心して暮らしの環境をつくりたい

「心豊かに住み続けたい町つるぎ」を目指して

**「心豊かに住み続けたい町つるぎ」を目指して**

社協職員の専門性を高めていくことが必要

あらゆるニーズに対応するため、個別支援や住民同士のネットワーク形成、社会資源の開発、制度の狭間に陥るニーズを拾い、行政に伝えて施策につなげていくことなど、私たちは「福祉でまちづくり」を担う専門職集団として期待されていることがたくさんあります。今後も「心豊かに住み続けたい町つるぎ」を目指して、人づくりと地域づくりの双方を視野に、



各担当者同士で情報共有

## 「みんなですすめる地域の福祉」活動状況

### 第4回東祖谷福祉まつり 東祖谷地区住民福祉協議会連合会

平成27年6月28日(日)

東祖谷地区地域福祉活動計画の活動目標である、「顔を合わせ笑顔で元気に暮らせる地域づくり」に向け、その取り組みの一として、実施されました。県警による振り込め詐欺被害防止の劇や交通安全劇、消防団の放水体験、「手づくりランプ」を作るコーナー、生活課題のニーズ発見に繋がるよう、健康・介護相談も実施されました。このまつりは、住民相互や各関係機関との連携、交流の場となっており、住民同士で支え合える地域づくり活動の展開が期待されます。

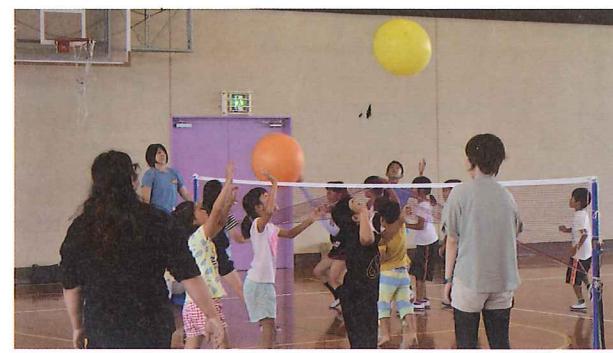


元気あつぶ!! 親子でえがお+セミナー  
えがお+for kids sports

平成27年6月7日(日)

運動・遊びにより、運動能力やコミュニケーション力の向上、社会性や道徳性を学ぶ機会にしたいとの目的で開催されました。子どもたちが体を動かしている間、保護者は別室で「遊びを通じて学ぶこと」についての講義を聴いてから、子どもと一緒にになって風船バレーなどを行いました。「保護者に講義を聴いていただき、すぐに子どもたちとの遊びに活用してほしいという思いがありました。」

この活動を通じ、子どもたちが笑顔いっぱいに成長してほしいと思います。



### つなげよう学校と地域で防災フォーラム 勝浦町ボランティア連絡協議会

平成27年7月15日(水)

災害時対応の基本的な知識や地域交流を図るため、日本赤十字社県支部指導のもと、AED講習、ロープワーク講習、災害時高齢者支援講習(タオル・ビニール袋等を使用し簡単にホットタオルと冷たいタオルをつくる体験)等、学校と地域の協働による防災講座が実施されました。小松島西高等学校勝浦校は町外から通学している生徒が多いため、地域の方との交流が図りにくい状況があります。一般参加者からも、高校生と一緒に学べて良かった、今後も継続して実施してほしいとの声がありました。



### 高齢者・障がい者パソコン入門講座 KSCの会

平成27年10月15日(木)

KSCは、K・高齢者、S・障がい者、C・チャレンジの略称です。全7回の講座で、今回の受講生は25期生となります。受講生と指導者がお弁当と一緒にマントツーマンとなり、「太郎」を使った文章作成方法を学びました。この会は、パソコン講座の他、児童へのパソコン指導や、北島チユーリップ公園の球根植え、共同募金、障がい者の一日遠足の付添、研修会等を行っています。ボランティアと遊びを取り入れ楽しく活動することにより、介護予防や孤立の解消を目的としています。

